

龍門の滝

甲辰令和6年正月

龍門は古代の貴族たちにとって、世俗を遠く離れた、別世界の空気が流れている場所でした。そのため、吉野の自然を崇拝していた修行者たちが修行の場として利用していました。7世紀後半その修行の場に龍門寺が創建され、宇多上皇や菅原道真、藤原道長らが訪れたといわれます。現在は全ての伽藍は姿を消し所々に痕跡が残るだけですが、この段瀑の荘厳な響きが往時の姿を想見させます。(出典:日本遺産吉野HP)

吉野町長 中井章太



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

就任直後から新型コロナウイルス感染症のパンデミックに襲われ、コロナ禍の町政運営が約3年続きましたが、昨年5月以降は人の動きも活発化し、町内でのイベント、インバウンド観光も含めコロナ前の賑わいが少しずつ戻ってまいりました。その様な中、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が20周年を迎える今年、受け継がれてきた営みや自然豊かな風景を次世代につなぐ絶好の機会と捉え、吉野町の未来を切り拓いてまいります。

■ごみ処理とデジタル変革

昨年を振り返りますと、長年の懸案でありましたごみ処理については最小の経費で最大の効果を上げるため、やまと広域環境衛生事務組合に長期間安定して可燃ごみの処理を昨年10月から委託することが決定し、財政的な負担が少ない上で、これまで通り

ごみ処理を行うことのできる環境を構築することができました。

デジタル変革による住民サービスの向上に向けた取組も着実に進んでおり、本年度中には、町内3箇所郵便局においてマイナンバーカードを活用した交付が可能になるほか、来年度には「所得・課税証明書」のコンビニ交付が可能となり、町民の利便性の向上が図られます。

■安心と希望につながる拠点を目指して

新庁舎整備事業につきましては、「行政サービス変革・新庁舎整備検討審議会」を昨年11月に設置し、住民サービスの変革や防災拠点としての役割、土地利用につながる地域施設の有効活用などの視点を踏まえた審議会を開催し、基本構想案の答申をいただき、町としての指針を示したいと考えております。

針に基づき、民間活力導入による地域経済の活性化と雇用の創出につながる拠点となるよう全力で取り組んでまいります。

旧吉野北小学校の跡地利活用については、庁舎審議会の基本構想案の答申後、吉野運動公園や津風呂湖などの周辺資源と連携できる拠点となるよう方向性を示したいと考えております。

「王道」なるまちづくりで

吉野町の未来を切り拓く！

町の未来のために解決すべき課題は山積しておりますが、時代の大きな転換期を迎えている今こそ、子や孫の代につながる視点を大切に持続可能な町政運営、まちづくりに取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様一人一人がつながり輝く一年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年 greetings 2024

吉野町長 中井章太



